



**川崎市職員労働組合**  
清掃支部 発行  
川崎市川崎区東田町7-2  
東田ビル2階  
電話 044(222)5906  
発行責任者 渋谷 勝美  
編集責任者 稲葉 拓也

清掃支部ホームページ  
QRコード





# 2020年 春闘団体交渉 開催

2020年3月25日(水) 第3庁舎16階会議室  
において春闘団体交渉が行われた。コロナウイルス  
感染拡大防止のため支部春闘総決起集会が中止と  
なる中、様々な課題に対して交渉が行われた。



はじめに斉藤局長から台  
風19号に伴う災害対応に  
ついて、清掃支部の協力に  
感謝する旨の話があり、続  
けて退職者の再任用に関す  
る制度や次年度から始まる  
会計年度任用職員制度に対  
する課題について引き続き  
支部と協議していききたい旨  
の話があった。次に渋谷支  
部長から団体交渉にあつた  
ためマスク着用での交渉  
になる旨を話された後、よ  
り良い清掃事業の確立に向  
けて話したい、と発言があ  
つた。

次に斉藤局長から清掃支  
部春闘要求に対する回答書  
が渋谷支部長に手渡され、  
回答書の内容について主に  
次のような話し合いが行わ  
れた。

**①事前協議制の遵守につい**  
て

この間、支部に事前協議  
がない段階で職場に情報が  
提供されたことがあったこ  
と、4月に管理職の人事異  
動があることから、改めて

支部に対する事前協議の遵  
守を求めた。局からは4月  
以降も誠意を持って支部に  
十分な説明をしていく旨の  
回答があった。

**②退職者の再任用制度及び  
会計年度任用職員制度につ**  
いて

支部として同一賃金同一  
労働が原則であることを述  
べた上で、次年度は浮島埋  
立事業等で雇用形態が4  
種類混在するような状況が  
あり、少数職場においても  
雇用形態と労働条件が複雑  
化する実態があることか  
ら、会計年度任用職員につ  
いては次年度限定の話なの  
かどうか、局に確認した。

局からは少数職場における  
雇用形態の複雑化について  
は把握しており、次年度の  
動向を踏まえつつ支部と協  
議していききたいと話があ  
り、併せて短時間再任用職  
員が埋まらない場合に会計  
年度任用職員制度で運用す  
るかどうかは、当該年度の  
動向を踏まえ支部と協議し  
たいと話があった。

**③労働安全衛生マネジメン**  
トシステムについて

この間、システムを導入  
するなど安全衛生活動の活  
発化により公務災害は一定  
程度減少したものの、重大  
災害が発生するなど、それ  
から先の発生抑制につな  
がっていないことから、今  
後のシステムのあり方につ  
いて局へ確認した。局から  
はシステムの研修を外部講  
師から内部講師に変更する  
などシステムを熟知した職  
員を増やしていくことで労  
働安全衛生管理体制を強化  
し、災害の発生抑制に繋  
がりたいと話があった。

**④各事業所における放射線  
量測定について**

次年度から焼却炉排ガス  
煙道へのゼオライト噴霧を  
停止すること及び各事業所  
で行っている空間放射線量  
測定が毎月から隔月になる  
ことを受けて、保管灰処理  
が終了したあと埋立灰や  
埋立地内水及び空間放射線  
量の測定を継続して行うよ  
う要請した。局からは、数  
値が不検出で安定している  
王禅寺と堤根においては空  
間放射線量及び灰中の放射  
線濃度測定を減らすこと  
もあるが、保管灰の処理  
を行っている浮島処理セン

ター及び埋立事業所にお  
いては、各種測定を継続し  
て行う旨、話があった。また、  
保管灰処理が終了してからの  
測定については支部と協  
議したいと述べられた。

**⑤現業職員の新規採用につ**  
いて

昨今、現業職員の採用が  
少数であること、近い将来  
環境局における現業職員が  
退職して大きく減ってしまう  
ことを踏まえ、局として  
現業職員の新規採用拡充を  
当局に訴えるよう要請し  
た。局からは、退職動向を  
踏まえると現状の採用人数  
では足りないことは認識し  
ており、新規採用の拡充が  
重要であると考えていると  
話があり、市全体で採用  
人数を増やす働きかけと、  
現業職の新規採用者をどう  
環境局に呼び込むかを考  
える必要があることから、引  
き続き支部と一緒に協議  
し、また、関係部署へ働き  
かけていききたい旨の話があ  
つた。

**⑥EV車の配置について**

EV車を川崎生活環境事  
業所で運用するにあたり、  
実情、通常の収集車両と比  
較して収集効率が低い傾向  
が見受けられることから、  
局として通常の収集ルート

での運用が一番良いとい  
うのなら、EV車を車両配置  
で1増とし、そのための人  
員を配置するよう局に要請  
した。局からは、現状は把  
握しており、どのような使  
い方が一番効果的なのか、  
今後支部と協議していき  
たいと話があった。

**⑦コロナウイルス対応マニ**  
ユアルについて

各職場でコロナウイルス  
の発病者がでた場合にお  
ける業務継続のための対応  
について、各職場で認識を  
統一したほうが良いことか  
ら、局に対応マニュアルの  
作成及び支部への情報提供  
を求めた。局からは、現在、  
収集及び処理で業務継続の  
ための対応について検討し  
ていることから、対応案が  
でき次第、支部と協議する  
旨、話があった。

**⑧人権課題の取り組みにつ**  
いて

支部として人権課題に対  
する取組みは継続して行う  
ことが必要不可欠であるこ  
とから、4月に入り管理職  
側の体制が変わっても継続  
して支部と取組んでいくよ  
う要請し、局からは支部と  
引き続き取組んでいく旨を  
確認した。

# 直営をよめる

## 仲間達 (351)

臨港分会

篠原 啓之

(しのはら けいじ)

20年間民間企業に勤務してから、40歳過ぎて入庁して、もう10年が経ちました。オヤジになってからの転職でしたが、今まで何とか仕事をやってこれた事を皆様に感謝しております。

近況報告になりますが、現在猛威を奮っているコロナウイルスにより、楽しみである野球やサッカー等スポーツ全般の観戦が中止又は延期になってしまい、趣味であるパチンコもコロナ

に感染しそうなので自粛しております。

そんな中余暇時間を利用して、コロナで学校が休み中の娘といっしょに、今年こそ太った体をダイエットし、5kg減量を目指して頑張りたいと思っています。

# 隣にいる仲間を想う

～在日外国人と日本人は国籍・民族を超えていけるか～

第22回

林慶一

●就職活動からの引越し  
(せいそう労働者第525号掲載分の続き)

三つのうち二つがそれぞれ六畳ほどで、残りのひとつは十畳ほどありそうでした。ナミはその一番大きな部屋に入ると窓を開け、ベランダに出てヨンスの方に振り返り「一か月後が楽しみね」と笑いました。そして、明日、入居時保証金を預かりた

い、と言いました。入居時保証金を渡した翌日からナミの姿を見かけなくなりました。引越しと家族の移住の準備が忙しいのかと思い、初めは気にしませんでした。それが大変な勘違いということにヨンスはあとから気づくことになりました。

その掲示板にメモを貼っておけば待ち合わせられますし、就職やアルバイトの求人情報、指導教授からの呼び出しもここに貼り出されておりました。ほかには「単位取得済みのため不要になったテキスト譲ります」「洗濯機安く売ります」「〇〇の本高く買い取ります」など、現在インターネットにあるような取引などがこの掲示板でやりとりされていました。ヨンスはナミからのメッセージがないか掲示板をくまなくチェックした後、ナミ宛に、至急連絡を取りたい、とメモを貼りました。そして立ち寄りそうな店を回り、地下鉄やバスに乗ってやみくもにぐるぐる探し回ってもみま

# 分会だより

## 堤根分会

No.194

こんにちは、堤根分会です。

昨年は市内で台風による浸水被害が発生し、当センターも被災ごみを受け入れ処理しました。通常時は受け入れを拒否する50cm以上の長尺物・粗大も、被災ごみとして処理受け入れを優先するため、被災ごみを仕分けして、長尺物・家具等はのこぎり・ボール等で

切断・分解し処理可能サイズまで小さくしました。すべてを手作業で行うので、被災当初に作業人員を確保するため他の業務を一時停止して被災ごみの処理を優先しました。また、公共交通の計画運休も経験していない職員が多く、バス・電車が動かない中で出勤手段をどうするか、個人的に悩まれた方も多かったと思います。堤根処理センターの立地場所は昔、河川と言われ、地下水(湧水)が多く湧きます。また、川崎駅

近郊の住宅地という状況から、建屋高を低くするため地下を設けた建屋となっております。地下1階、2階、3階にポンプ室があり、ここに多摩川が氾濫して大量の水が流入するとポンプが水没し、長期間にわたり廃水処理やボイラー給水ができません。このような状況にならないよう、検討も始まっています。

マンションを一緒に内見し、入居時保証金を渡した翌日からナミの姿を見かけなくなりました。大学の学生会館や学生食堂、史学科の教室などをのぞき、ナミの姿を探しましたが。考えてみれば、ナミが住んでいるところも連絡先も知らないことに今更ながら気づきました。当時、携帯電話などは普及しておらず、大学の友人に会いたくさきや待ち合わせなどは学生会館の掲示板で充分でした。このリアル掲示板はまさに現在のインターネットの掲示板の原型といえるものでした。学生会館に入ると真正面に大きな掲示板があり、友人に会いたいときは、

マンションへも行ってみましたが当然おらず鍵もかかっていないため、なす術がありませんでした。でも入居時保証金は払ってあるのだから大丈夫、引越し当日またこのマンションに来ればナミにも会えるだろうし、晴れて新生活が始まる、と考えなおしました。

(次号へ続く)